

様式例第1号の1

農地法第3条の規定による許可申請書（ゼロから農業エントリー制度認定者用）

令和 6年 4月 1日

藤枝市農業委員会会長 殿

当事者

<使用貸人>

住所 藤枝市岡出山1丁目1番11号  
氏名 藤枝 太郎

<使用借人>

住所 藤枝市岡部町岡部1234号  
氏名 岡部 次郎

下記農地(採草放牧地)について使用貸借による権利を設定(期間3年間)したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

記

1 当事者の氏名等

当事者	氏名	年齢	職業	住所
使用貸人	藤枝 太郎	78	農業兼 会社員	藤枝市岡出山1丁目1番11号
使用借人	岡部 次郎	35	会社員	藤枝市岡部町岡部1234号

2 許可を受けようとする土地の所在等（土地の登記事項証明書を添付してください。）

所在・地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	所有者の氏名又は 名称 現所有者の氏名又は 名称（登記簿と異なる 場合）	所有権以外の使用収益権が設定され ている場合	
	登記	現況			権利の種類、 内容	権利者の氏名又は 名称
藤枝市〇〇12345番	田	畑	500	登記と同じ	該当なし	

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

令和 6年 5月 1日から令和 9年 4月 30日まで（3年間）の使用貸借権設定

(記載要領)

記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

I 一般申請記載事項

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	自作地	0				
	貸付地	0				
	非耕作地	所在・地番		地目		面積 (㎡)
	なし		登記	現況		
所有地以外の土地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	借入地	0				
	貸付地	0				
	非耕作地	所在・地番		地目		面積 (㎡)
	なし		登記	現況		

(記載要領)

1 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第5号の括弧書きに該当する土地です。

2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～であることから条件不利地であり、〇年間休耕中であるが、草刈り・耕起等の農地としての管理を行っている」等耕作又は養畜の事業に供することができない事情等を詳細に記載してください。

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採草 放牧地
		野菜類						
作付(予定)作物								
権利取得後の 面積(m <sup>2</sup> )		500						

(2) 大農機具又は家畜

種類 数量	管理機	農業用自 動車(軽ト ラック)			
	確保しているもの  (所有) (リース)	1	1		
導入予定のもの  (所有) (リース)  資金繰りについて					

(記載要領)

- 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、農耕用に使役する牛、馬等です。
- 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況  
農作業暦 **5**年、農業技術修学歴 **1**年、その他 ( **JA アグリセミナー受講済** )

② 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)	<b>2</b> 人 (農作業経験の状況 : )
-------------------------	--------------------------

③ ①～②の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間

	住所地、拠点となる場所	権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間
①の者	<b>藤枝市岡部町岡部1234号</b>	<b>500m</b>
②の者		

<農地法第3条第2項第4号関係> ( 権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。 )

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

農作業に従事する者の氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との関係 (本人又は世帯員等)	農作業への年間従事日数	備考
<b>岡部次郎</b>	<b>35</b>	<b>会社員</b>	<b>本人</b>	<b>100</b>	<b>○</b>
<b>岡部花子</b>	<b>33</b>	<b>会社員</b>	<b>妻</b>	<b>60</b>	<b>○</b>

(記載要領)

備考欄には、農作業への従事日数が年間150日に達する者がいない場合に、その農作業に従事する者が、その行う耕作又は養畜の事業に必要な行うべき農作業がある限りこれに従事している場合は○を記載してください。

## II 使用貸借又は賃貸借に限る申請での追加記載事項

権利を取得しようとする者が、農地所有適格法人以外の法人である場合、又は、その者又はその世帯員等が農作業に常時従事しない場合には、Iの記載事項に加え、以下も記載してください。

(留意事項)

農地法第3条第3項第1号に規定する条件その他適正な利用を確保するための条件が記載されている契約書の写しを添付してください。また、当該契約書には、「賃貸借契約が終了したときは、乙は、その終了の日から○○日以内に、甲に対して目的物を原状に復して返還

する。乙が原状に復することができないときは、乙は甲に対し、甲が原状に復するために要する費用及び甲に与えた損失に相当する金額を支払う。」、「甲の責めに帰さない事由により賃貸借契約を終了させることとなった場合には、乙は、甲に対し賃借料の〇年分に相当する金額を違約金として支払う。」等を明記することが適当です。

<農地法第3条第3項第2号関係>

7 地域との役割分担の状況

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

(例えば、農業の維持発展に関する話し合い活動への参加、農道、水路、ため池等の共同利用施設の取決めの遵守、獣害被害対策への協力等について記載してください。)

**権利取得の後は、農地として適切に管理し、周囲に迷惑を及ぼすことはしないことはもちろん、農道・水路等の利用その他の取決めに遵守し、地域農業との調和のもと耕作を行います。**

<農地法第3条第3項第3号関係> (権利を取得しようとする者が法人である場合のみ記載してください。)

8 その法人の業務を執行する役員又は重要な使用人のうち、その法人の行う耕作又は養畜の事業に常時従事する者の氏名及び役職名並びにその法人の行う耕作又は養畜の事業への従事状況

(1) 氏名

(2) 役職名

(3) その者の耕作又は養畜の事業への従事状況

その法人が耕作又は養畜の事業(労務管理や市場開拓等も含む。)を行う期間:年 か月

そのうちその者が当該事業に参画・関与している期間:年 か月(直近の実績)

年 か月(見込み)